

令和2年11月24日

各 位

北海道病院協会

理事長 中村 博彦

全日本病院協会北海道支部

支部長 徳田 禎久

( 印 章 省 略 )

『自衛隊病院における新型コロナウイルス感染症対策セミナー』開催のお知らせ

北海道病院協会及び全日本病院協会北海道支部の運営につきましては、日ごろから特段のご高配を賜り、心からお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症につきましては、現在、北海道内において数多くのクラスターが発生するなど、予断を許さない状況が続いており、発熱患者への対応とともに、院内感染への対策がますます重要なものとなってきております。

昨年12月に中華人民共和国の武漢市で報告された新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に世界中に拡散し、日本国内においても、1月中旬に初の陽性患者が確認されておりますが、自衛隊中央病院では、政府チャーター機による武漢市からの帰国者やダイヤモンドプリンセス号の集団感染に伴う陽性患者など、早い段階から入院患者の受け入れを行っております。

しかしながら、自衛隊中央病院では、こうした入院患者を数多く受け入れているにも拘わらず、新型コロナウイルスの院内感染者は1人も出しておりません。

この度、自衛官OBである 武内 誠一 氏をお招きし、新型コロナウイルス感染症に対する自衛隊中央病院の対応や自衛隊の特性と危機管理対応についてご教示いただくことといたしました。

つきましては、別紙のとおり開催いたしますので、感染対策に関わる職員等の受講についてご配慮いただきたく、ご案内申し上げます。

なお、本研修会は、新型コロナウイルスの感染防止の観点から、パソコンやスマートフォン等によるネット受講（ZOOMを使用したりリモート研修）とさせていただきます。